

| | | | | | | | |
|---|--|-----|------|---------|----------------------|------------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 栄養教育論実習Ⅱ (IB354) (実務的教育科目) | | | 担当教員 | 高江洲有沙 (実務経験のある教員) | | |
| 展開方法 | 実習 | 単位数 | 1 単位 | 開講年次・時期 | 3年・後期 | 必修・選択 | 必修 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| 栄養教育論実習Ⅰに引き続き、様々なライフステージの対象者に応じた栄養教育を行うことができる技術や手法を修得する。特に、個人栄養教育においては、自身で立案したプログラムをロールプレイすることにより、自身の課題を確認して改善することを繰り返し行うことで、より実践的な能力を修得する。 | | | | | | | ②③④⑥⑩ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 対象者をとりまく環境と病態との関連性を明らかにし、一次予防の必要性を説明することができる。 | | | | ・課題レポート | 30% | |
| 情報収集、分析力 | 対象者の食行動の問題点を把握し、その解決に向けた教育内容の計画の立案ができる。 | | | | ・課題レポート | 30% | |
| コミュニケーション力 | 高度な知識を平易な言葉で表現し、カウンセリング技法を用いて適切な食生活実践に向けて行動変容に導くための栄養教育ができる。 | | | | ・ロールプレイ | 15% | |
| 協働・課題解決力 | 管理栄養士になることを自覚し、栄養教育・指導を行うことに意欲的に取り組むことができる。 | | | | ・授業態度 ・プレゼンテーション | 15% 10% | |
| 多様性理解力 | | | | | | | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート(60%)は、実習内で学修した栄養教育論や公衆栄養学等を基礎とした内容や栄養教育計画の立案、栄養教育に必要なポイントを理解しているかを問い、ロールプレイ(模擬個別栄養教育9回)の評価(15%)は、対象者のアセスメント結果を反映させた課題解決が望める栄養教育であるか、行動科学理論やモデル、カウンセリング技法を活用されているか、対象者にとって平易で理解しやすいか評価する。プレゼンテーション(2回)の評価(10%)は、課題に合致しているか、聞き手にとって平易で理解しやすいか等を評価する。なお、プレゼンテーションおよびロールプレイの評価は、模擬栄養教育終了後の事後レポートと併せて評価を行う。授業態度(15%)は、実習へ臨む態度、グループでの取り組む姿勢や班員との協力態度等で評価する。 ・資料やレポートの提出はポートフォリオを活用し、授業内でフィードバックする。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・集団および個別を対象に想定し、問題解決に向けてカウンセリング技法や行動科学理論に則った模擬栄養教育を行うことを主とした授業内容である。 ・テーマによって3~6名のグループを基本とし、模擬栄養教育やプレゼンテーションを行う。実施後は、全員でディスカッションを行い、内容等を評価し合う。 ・担当教員の学校や行政機関等での実務経験から現場をイメージした具体的なアドバイスをを行い、より実践的な技術の修得へ導く。 ・授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。 | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| 教科書:「改訂 マスター栄養教育論実習」建帛社 参考書:日本栄養士会編「管理栄養士・栄養士必携」第一出版 指定図書:「改訂 マスター栄養教育論実習」建帛社 | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育の実施においては、対象者との信頼関係が不可欠であり、その際には栄養カウンセリング技法の活用が求められるため、それらを日ごろの生活から意識し、多くの人とコミュニケーションを図る中で実践することを求める。 ・授業中の私語、携帯電話、メール等は厳禁、無許可での途中退出は不可とする。 | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|-----------------|---|---|
| 1 | 個別栄養教育 (1-1) | 特定保健指導 初回面接の実施① SOAP 形式による記録 | 特定保健指導およびその対象の特徴を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングと SOAP 形式による記録を復習する。 |
| 2 | 個別栄養教育 (1-2) | 特定保健指導 初回面接の実施② SOAP 形式による記録 (初回面接のロールプレイ) (事後レポート) | 行動科学理論を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングと SOAP 形式による記録を復習する。 |
| 3 | 個別栄養教育 (1-3) | 特定保健指導 初回面接の実施③ SOAP 形式による記録 (初回面接のロールプレイ) (事後レポート) | 行動科学理論を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングと SOAP 形式による記録を復習する。 |
| 4 | 個別栄養教育 (1-4) | 特定保健指導 初回面接の実施④ SOAP 形式による記録 (初回面接のロールプレイ) (事後レポート) | 行動科学理論を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングと SOAP 形式による記録を復習する。 |
| 5 | 個別栄養教育 (1-5) | 特定保健指導 最終面接の実施⑤ SOAP 形式による記録 (初回面接のロールプレイ) (事後レポート) | 行動科学理論を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングと SOAP 形式による記録を復習する。 |
| 6 | 個別栄養教育 (2-1) | 動機づけ面接法を採用した栄養教育① 糖尿病患者への栄養教育の実施 (事例 1) (ロールプレイ) | 動機づけ面接を活用した栄養教育の方法を予習する。糖尿病患者の気持ちを理解した動機づけ面接を復習する。 |
| 7 | 個別栄養教育 (2-2) | 動機づけ面接法を採用した栄養教育② 糖尿病患者への栄養教育の実施 (事例 2) (ロールプレイ) (事後レポート) | 動機づけ面接を活用した栄養教育の方法を予習する。糖尿病患者の気持ちを理解した動機づけ面接を復習する。 |
| 8 | 個別栄養教育 (3-1) | 高齢者の在宅訪問における栄養教育の実施 (ロールプレイ) (事後レポート) | 高齢期の特徴をふまえた在宅訪問における栄養教育の方法を予習する。高齢期の在宅訪問における栄養カウンセリングを復習する。 |
| 9 | 個別栄養教育 (4-1) | 離乳期・幼児期 個別栄養教育の実施 (ロールプレイ) (事後レポート) | 離乳期・幼児期の個人が有する問題の解決に向けた個別教育の方法を予習する。個別教育のポイントを復習する。 |
| 10 | 集団栄養教育 (5-1) | 学童期・思春期 集団栄養教育に向けた計画の立案と教育媒体作成 | 学童期・思春期に関する特徴や問題点を復習し、栄養教育計画を予習する。各期の栄養教育のポイントを復習する。 |
| 11 | 集団栄養教育 (5-2) | 学童期・思春期への集団栄養教育の準備 (教育媒体作成、リハーサル等) | 学童期・思春期へ分かりやすいプレゼンテーションに向けて予習する。各期に栄養教育のポイントを復習する。 |
| 12 | 集団栄養教育 (5-3) | 学童期・思春期への集団栄養教育の実施 (栄養教育のプレゼンテーション) (事後レポート) | 学童期・思春期へ効果的なプレゼンテーションに向けて予習する。教員・学生等からの評価内容を基に振り返る。 |
| 13 | 個別栄養教育 (5-4) | 学童期・思春期 個別栄養教育の実施 (ロールプレイ) (事後レポート) | 学童期・思春期の個人が有する問題の解決に向けた個別教育の方法を予習する。個別教育のポイントを復習する。 |
| 14 | 健康危機管理 (6-1) | 災害時における備蓄食の検討① (病院における災害時用献立の作成) | 災害時における給食施設の備蓄食を予習する。災害時の献立を考える際のポイントを復習する。 |
| 15 | 健康危機管理 (6-2) | 災害時における備蓄食の検討② (病院における災害時用献立のプレゼンテーション) (事後レポート) | 災害時における給食施設の備品を予習する。教員・学生からの評価を基に復習する。 |
| 16 | 定期試験 | | |